



平成28年11月4日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
(コード番号 9878 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭
(TEL. 03-6273-2053)

第2四半期業績予想との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成28年5月6日に公表した平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想との差異及び特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異について

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値との差異(平成28年3月21日～平成28年9月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,480	△70	△100	△120	△8.47
実績値(B)	3,918	△231	△254	△307	△21.66
増減額(B-A)	△562	△161	△154	△187	
増減率(%)	△13.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	4,794	△159	△198	△209	△14.81

第2四半期(累計)業績予想数値との差異の理由

売上高については、円高、株式市場の低迷などにより、企業業績が伸び悩む中、個人消費の停滞に加えこれまで需要を牽引してきた中国人観光客をはじめとするインバウンド需要の減速などが響き、売上高は3,918百万円と予想を下回りました。利益面では販促費の積極的かつ大幅な削減に取り組むなど収益力の改善に努めましたが、売上減による売上総利益の減少をカバーできず、営業損失は231百万円、経常損失は254百万円となりました。また、今後の収益改善に向けた不採算店舗1店舗の撤退を行い、閉鎖店舗の固定資産除却損24百万円及び賃貸借契約解約損11百万円などを計上した結果、四半期純損失は307百万円と予想を下回りました。

2. 特別損失の計上について

上記のとおり、当第2四半期累計期間において、不採算店舗1店舗の閉鎖を実施し、固定資産除却損24百万円、賃貸借契約解約損11百万円を計上したほか、投資有価証券売却損益を純額で△5百万円(損失)計上しております。

以 上